

○岩手北部森林管理署の「採材現地検討会」に出席しました。

青森事務所では毎年、森林管理署等の採材検討会に参加し、技術指導や情報提供などを行うことで、国有林材を円滑・効果的に活用するよう努めています。令和6年8月1日（木）に岩手県二戸市の駒ヶ嶺国有林で開催された「令和6年度 採材現地検討会」に、青森事務所から2名出席してきました。

当日は晴天のなか、林業関係団体や県・市町村担当者、署管内の林業事業者など30名を超える参加を得て開催されました。岩手北部森林管理署長の挨拶後、青森事務所から東北森林管理局管内の需要動向についての説明とともに、今年度の委託販売結果、スギ等針葉樹の4m採材の推進、請負事業実行時の留意事項について説明しました。続いて、署の担当者より昨年度の販売状況、針葉樹・広葉樹の採材の方法や留意事項、現地の概要についての説明、岩手県森林組合連合会の担当者から県内の市況動向や、事前質問へのQ&A、広葉樹等の取り扱いについての説明があり、実際の採材の検討に移りました。

会場に準備したスギ、アカマツ各1本、広葉樹3本の計5本の試供木を対象に4班に分かれ採材の検討を行いました。各班による全ての試供木の検討後、各試供木について各班から採材案の説明があり、それに対して岩手県森林組合連合会より採材の解説や留意事項などの情報提供がありました。針葉樹や様々な広葉樹について実際の試供木を前に、採材方法の検討・指導を受けることにより、参加者間で針葉樹の合板材の基準や広葉樹の一般材採材への理解を深めることができました。最後に青森事務所から、採材検討の講評と労働安全等についてお話をいただき採材検討会を終了しました。

青森事務所では今後も採材検討会や労働災害防止協議会へ積極的に参加し、国有林材の有効な利用と労働安全に貢献して参りたいと考えています。



（アカマツ・広葉樹の採材検討）



（各班によるスギの採材説明）